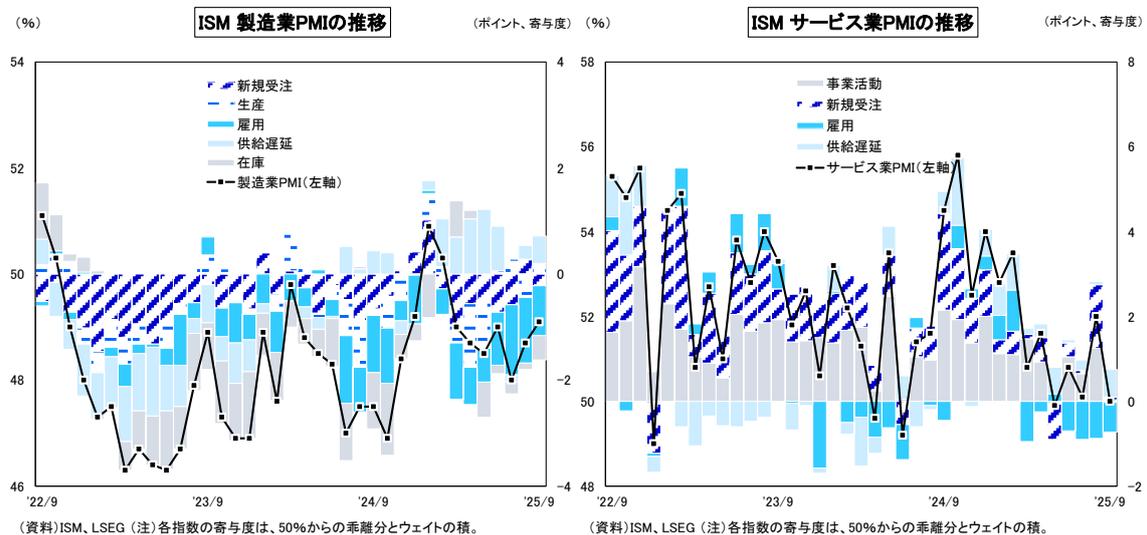


(米国)景気減速懸念が強まった9月ISM景況指数

9月のISM景況指数をみると、製造業指数は前月から+0.4ポイントの49.1%と、判断基準となる50%を7か月連続で下回り、製造業の縮小局面を示した。サービス業指数は同▲2.0ポイントの50.0%と方向感を欠いた。全体としては、景気減速懸念が強まった。

価格指数については、製造業が同▲1.8ポイントの61.9%、サービス業は同+0.2ポイントの69.4%となり、いずれも上昇傾向が継続している。雇用指数については、製造業が同+1.5ポイントの45.3%と8か月連続で縮小傾向を示唆し、サービス業も同+0.7ポイントの47.2%と4か月連続で縮小傾向となった。全体としては、ISM景況指数からは企業部門の成長と雇用の減速が警戒される。



米政府機関閉鎖が続くなか、今週の経済指標に関しては消費者マインドについてのニューヨーク連銀調査(7日)とミシガン大学調査(速報、10日)などが注目点といえる。